

学会参加奨励金報告書

学籍番号：R22-082

名前：辺土名 さや

学会名：2024年度 放射線教材コンテスト

開催場所：東京 科学技術館

開催期間：2024年12月27日

発表セッション名：「ラジトレ」で楽しく放射線と医療の知識を身につけよう！

発表形態：ブースでの発表、実演

発表日時：2024年12月27日10時～18時

1. 発表の概要

私が所属する青野ゼミでは、中学生を対象にした放射線カードゲーム教材「ラジトレ」を作成し、9月の末に日本科学技術振興財団が主催する、放射線教材コンテストに応募した。応募総数213作品中、10作品に選ばれ、10月28日に入選した。

そして、12月27日に東京の科学技術館で、2024年度放射線教育発表会があり、私たちが作成した教材の実演、発表を行った。

2. 質疑応答内容 他

写真やオリジナルのイラストを使い、目を引くようなブースを作成した。10分以内でラジトレを最大限アピールできるように、ラジトレの説明担当、プレイをする担当の2つに分けて発表、実演を行った。質疑応答としては、工夫した点について聞かれることが多く、各々が聞きやすい声で説明した。カードの下部にあるヒントや、QRコードからダウンロードして気軽にカード作成ができることなどを伝えた。

3. 関連発表の内容

その結果、最優秀賞、全国中学校理科教育研究会特別賞、NPO法人放射線教育フォーラム特別賞、日本科学技術振興財団理事長賞特別賞の合計4つの賞を受賞した。最優秀賞と特別賞を同時に受賞することは少なく、コンテストが始まって以来、過去最高の賞を受賞することができた。また、日本科学技術振興財団理事長賞特別賞は、私たちの発表や実演の出来栄を審査員や来場者が見て、投票によって決まる賞である。

4. 学会参加の感想

夏休みからゼミ活動を始め、ゼミ生4人で役割分担をし、それぞれが責任を持って任務を全うした。11月12日には、南丹市立園部中学校の3年生約120人にラジトレ

をプレイしてもらった。私は渉外担当として、園部中学校の先生方と連絡を取り合い、本学の先生方、ゼミ生と何度も話し合ってカードの文章作成を行い、多くの改良を重ねた。青野先生とこまめに連絡を取り、ゼミ生に伝え、一人一人とコミュニケーションを取ることを大事にして、それぞれの意見や思いを汲み取って、取りまとめた。授業内で10分でできる教材というニーズに応え、準備が簡単で機器や薬品を使わず、誰もが楽しく安全に放射線を学習することができるという点でカードゲーム教材にした。教員や中学生が扱いやすいように、わかりやすいデザインや設計にもこだわった。実際に、発表会で審査員の方から、「教材を丁寧に作っている点が受賞に繋がった。」と高い評価を得た。

約4ヶ月のゼミでの活動は、私にとって人生最大の思い出であり、喜びになった。この経験を活かして、今後も精進して参る所存である。多くの方々のご指導ご鞭撻のもと、このような成果をいただくことができた。本研究遂行にあたり、ご協力してくださった皆様に心から感謝申し上げます。

1. 現地参加がわかる写真(4枚)

